

「国土交通省直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドライン（案）」の主な内容

項目	主な内容
第1章 総合評価落札方式の導入の背景	● 公共工事の品質確保・向上の必要性。
第2章 ガイドラインの構成	● ガイドラインに盛り込まれる通達等。
第3章 総合評価落札方式の基本的事項	
3-1 総合評価落札方式の概要	● 総合評価落札方式の基本的な考え方。
3-2 総合評価落札方式の適用範囲	● 「LCC低減」、「性能・機能向上」等が見込まれる工事に適用。
3-3 総合評価落札方式のタイプ	● 難易度や予定価格だけによらず、求める技術力に応じた技術提案の数、内容等に応じて、総合評価落札方式のタイプを選択。
3-4 タイプ別の選定フロー	● 工事技術的難易度評価表を活用した標準型、簡易型のタイプ選定。
3-5 高度技術提案型のタイプ別選定の考え方	● 高度技術提案型のタイプ選定（Ⅰ～Ⅲ型）の考え方。
第4章 総合評価落札方式の実施手順	
4-1 高度技術提案型の実施手順	● 各タイプ（高度技術提案型、標準型、簡易型）の実施フロー及び留意点。
4-2 標準型の実施手順	
4-3 簡易型の実施手順	
4-4 実施にあたっての留意事項	● 高度技術提案型における応札者の負担軽減のための留意事項。
第5章 総合評価落札方式の評価方法	
5-1 一般的事項	● 技術的要件及び評価基準の入札説明書等への明示。
5-2 技術的要件	● 技術的要件の設定方法。
5-3 高度技術提案型における技術的要件	● 競争参加者の選定方法。
5-4 標準型における技術的要件	● タイプ別の評価項目及び配点割合。
5-5 簡易型における技術的要件	
5-6 評価基準	● 評価項目の加算点の評価方式。 ● タイプ別の評価項目・評価基準の設定例。
5-7 評価の実施	● 評価にあたっての基本的な考え方。 ● 高度技術提案型における「技術提案の審査」「技術提案の改善」等の留意事項。
5-8 中立かつ公正な審査・評価の確保	● 学識経験者への意見聴取の内容。
第6章 総合評価落札方式の評価結果の公表	
6-1 評価結果の公表	● 評価及び落札結果の記録と契約後の早期の公表。 ● 技術提案内容の保護。
6-2 技術提案の採否の通知	● 技術提案の採否・評価結果に関する通知の内容 ● 通知に関する問い合わせ窓口の設置。
6-3 入札及び契約過程に関する苦情処理	● 入札者からの苦情処理の内容（評価結果・理由の記録と説明）。
第7章 総合評価落札方式の評価内容の担保	
7-1 技術提案の履行の確保	● 技術提案の施工計画書への明記等の履行確保の方法。
第8章 総合評価落札方式の試行	
8-1 施工体制確認型総合評価落札方式の試行	● 適切な施工体制確保が必要な工事を対象。 ● 施工体制評価項目の内容と審査・評価方法。
8-2 総合評価落札方式における提出資料の簡素化等（実績重視型総合評価落札方式）	● 小規模かつ施工計画の工夫の余地が小さい工事を対象。 ● 「簡易な施工計画」以外での評価項目の設定。
8-3 地元企業活用審査型総合評価落札方式の試行	● 入札参加者だけでなく下請企業等も評価する方式。 ● 「地域精通度・貢献度等」や「地域での施工実績等」による評価の実施。
8-4 一般競争入札等の競争参加資格における施工実績に係る要件を緩和する工事の試行	● 競争参加資格で工事量を求めない実績要件の緩和。
8-5 特定専門工事審査型総合評価落札方式の試行	● 特定専門工事（法面処理工・杭基礎工・地盤改良工）が工事全体に占める重要度の高い工事を対象。 ● 特定専門工事部分の評価項目の内容と審査・評価方法。
8-6 二段階選抜方式、事後審査型入札方式の考え方	● 受発注者の事務量の軽減等の効果。 ● 実施方法と留意事項。